

令和3年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業指導案

- 1 題材名 風水害に備える
- 2 日時 令和3年(2021年)9月22日(水)6限(14:30~15:20)
- 3 生徒 2学年(3クラス)
- 4 場所 視聴覚室
- 5 授業者 2学年職員(学年主任含む8名)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

学校行事「避難訓練」



学級活動・ホームルーム活動
「風水害に備える」



地歴科「日本の地理」

7 ねらい 本校が所在する地域の特徴を熊本河川国道事務所及び砂防課の職員の方に解説していただくことで深く知り理解する。また、風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方について考えることができる。

8 展開

	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
導入 3分	1 心のケアを受ける。(本手引P2参照)	○生徒の心身の状態に十分配慮する。
	<p>(1) これから自然災害について学習します。災害について理解し、正しく対処する方法を学ぶことはこれからの生活への「安心」につながることです。</p> <p>(2) ドキドキすることがあっても、それは自然なことだから安心してください。ただし、我慢できなくなったら、遠慮なく知らせてください。</p> <p>(3) 「災害」や「風水害」という言葉自体は安全であるため、安心して授業を受けてください。</p>	
展開 40分	2 風水害について知る。 ★ 熊本県内で起こった風水害を知っていますか。	○熊本河川国道事務所の方に、白川の水害、平成28年6月に発生した甲佐町での豪雨について説明していただく。 ○砂防課の方に全国の土砂災害について説明していただく。
	3 熊本県の雨の特徴を知る。 ★ 資料を見て、熊本県の雨の特徴を考えよう。	○パワーポイントを用いて、熊本県の雨の特徴について確認させる。 ◎熊本県は6月中旬から7月中旬までの梅雨時に雨がまとまって降り、7月の初め頃大雨になりやすい傾向がある。 ◎寝ている時間帯に大雨が発生する傾向にある。 ○風水害は、発生前に情報を得ることができる災害で、市町村が発令する避難情報があることを理解させる。
	4 地域について知る。 ★ 甲佐高校や各出身中学校近辺のハザードマップを見てみよう。	○スマートフォンでの検索の仕方を紹介する。 ○パワーポイントを用いて、それぞれの地域のハザードを確認させる。

	<p>★ 雨がたくさん降るとどうなるのか考えてみよう。</p> <p>5 避難情報が発令されたときの避難行動について考える。</p> <p>★ 市町村が発令する避難情報にはどんな情報があるか知っていますか。</p>	<p>○熊本河川国道事務所の方に国土交通省が作成している川の防災情報の活用方法等を、砂防課の方に土砂災害警戒情報の調べ方等を説明していただく。</p> <p>≪市町村が発令する避難情報≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等避難 ・避難指示 ・緊急安全確保
<p>風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方を考えよう。</p>		
<p>ま と め 7 分</p>	<p>★ 避難情報が発令された場合の具体的な行動について考えよう。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>6 心のケアを受ける。（本手引P2参照）</p>	<p>○具体的な行動について考えさせる。</p> <p>◆風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方について考えている。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】〈ワークシート〉</p> <p>◎<u>自らが率先して避難することが、周囲の避難行動を促すことにつながることを理解させる。</u></p> <p>○熊本河川国道事務所及び砂防課からまとめをしていただく。</p> <p>○本時の学習を振り返り、学習内容を深める。</p> <p>○生徒の心身の状態に十分配慮する。</p>

※学校防災教育指導の手引を参考に作成